つながれ、ひろがれ、エコメッセ「ちば最大の環境活動見本市」

エコメッセ2012inちば

実　施　報　告　書

エコネコ©つやまあきひこ

２０１３年２月

エコメッセちば実行委員会

エコメッセちば は、持続可能な社会の実現をめざして、市民・企業・行政・大学が良好なパートナーシップのもとに協働し開催する環境イベントです。市民、企業、行政（千葉県、千葉市）、学生がボランティア参加するエコメッセちば実行委員会が、企画から運営までを担っています。

エコメッセちば実行委員会では、子どもから大人まで楽しめる環境イベントをとおして、参加者に、市民・企業・行政・大学の活動や連携・協働への理解を深めていただきたいと考えています。そしてみんなで少しずつ知恵を出し合い、環境問題の解決に取り組む社会をつくっていきたいと願っています。

Contents

エコメッセ趣旨／
エコメッセ 2012 in ちばを終えて …… 2

開催概要／来場者数・出展者 推移 …… 3

出展団体のご紹介…… 4・5

出展者一覧…… 6

エコステージ／エコクイズラリー…… 7

ちばの川と水 探検館／エコカー展示・試乗会 …… 8

ちとらくんによる運転適性診断／缶つぶし大会／ソーラークッキング実演 … 9

環境協働創造市…… 10

まるごみ '12…… 11

千葉の里山・田舎暮らし物産展／どう取り組むかこれからの新エネルギー … 12

アンケート結果…… 13

エコメッセの変遷…… 14

実行委員名簿／収支概要…… 15

エコメッセ 2012 in ちばを終えて

実行委員長　　桑波田　和子

平成 24 年 9 月 17 日、幕張メッセにおいて「エコメッセ 2012in ちば」を開催いたしました。

あらためて、ご出展、ご協賛、ご後援、ご来場いただいた大変多くの方々に御礼申し上げます。また、当日は 60 名以上のボランティアの方々にも応援していただきまして、ありがとうございました。

17 回目を迎えた今回は、「つながれ、ひろがれ、エコメッセ“ちば最大の環境活動見本市”」をテーマに、県内外から 140 団体（社）にご出展いただきました。
出展内容も、温暖化防止、循環型社会、生物多様性、物づくり等多岐にわたり、里山・水循環・まるごみ・新エネルギー・エコカーなど多くの体験・学びの場を提供していただきました。

おかげさまで、子どもから大人まで 12,000 人が来場されるなど、盛況に開催することができました。
これもひとえに、皆さまのご支援、ご協力の賜物と深く感謝しております。

今年は、例年どおりの「活動見本市」に加え、活動見本市に出展される企業や市民団体、行政など団体同士の連携・協働による取組を推進するために、新たに「環境協働創造市」を実施しました。創造市は、その後も継続して開催しており、今後、県内各地で協働の取組が行われていくことを願っています。

エコメッセも、市民（団体）や企業、行政等が実行委員会をつくり企画運営している協働の取組です。
実行委員会では既に次回「エコメッセ 2013in ちば」を平成 25 年 9 月 28 日（土）に開催の予定で準備を始めました。
引き続きエコメッセへのご支援、ご参加をよろしくお願いいたします。

平成 25 年1月

エコメッセ 2012 in ちば 開催概要

◆エコステージ
◆エコクイズラリー
◆エコカー展示・試乗会
◆ ICCS 公認 缶つぶし大会
◆ソラークッキング実演
◆「ちとらくん」～あなたの運転能力は？
◆「どう取り組むか、これからの新エネルギー」
◆千葉の里山・田舎暮らし物産展
◆ちばの川と水 探検館
●環境協働創造市
●まるごみ '12 ～ 100 年たっても地球となかよし～

エコメッセで使う電力は
太陽光で作られる
グリーン電力です！
グリーン電力証書発行:太陽光発電所ネットワーク

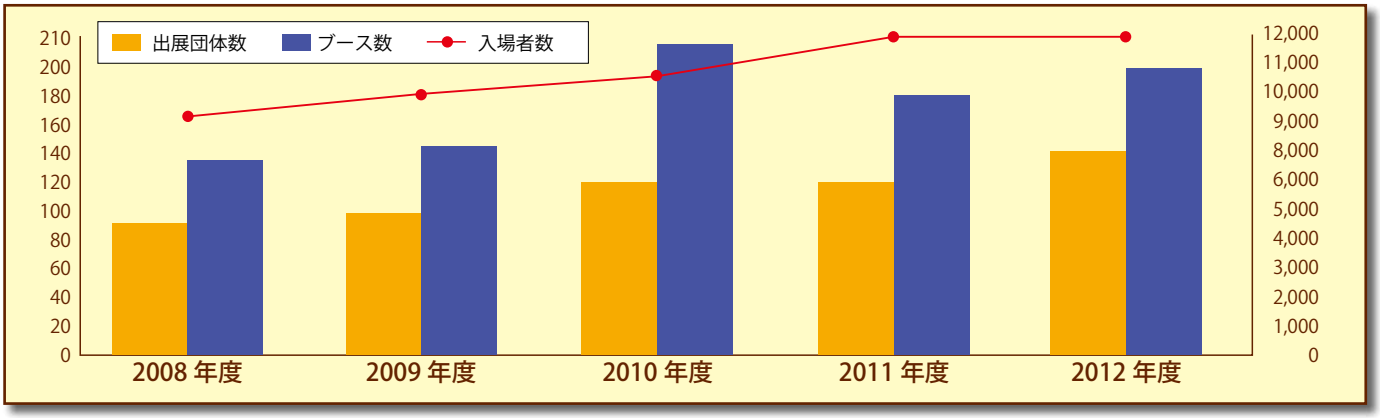
出展分野と団体数

- 生物多様性 …… 8 団体
- 地球温暖化 …… 22 団体
- 循環型社会 …… 14 団体
- 環境教育・環境学習 …… 17 団体
- 環境配慮型商品 …… 23 団体
- 千葉の里山・田舎暮らし …… 16 団体
- その他（大学、探検館 他含む） …… 40 団体

来場者数・出展者　推移

エコメッセ出展団体・ブース・来場者数推移

	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度
出展団体数	92	98	120	120	140
出展ブース数（実行委員ブース除く）	137	145	206	180	200
来場者数（人）	9,100	10,100	10,500	12,000	12,000



地球温暖化防止

●ＮＰＯ法人エアコンクリーニング協会

エアコンクリーニングの効果、電気代削減及びカビ汚染の防止等に関する研究の展示。

●グリーン購入ネットワーク（GPN）

「すごろく」を使い“物の一生”から CO2 の排出や減らす方法などを来場者と共に考える環境学習。

●佐渡低炭素島づくり協議会（新潟県佐渡市）

トキと暮らす島生物多様性佐渡戦略、世界農業遺産の紹介と朱鷺と暮らす郷づくり認証米の販売。

環境に配慮したモノづくり

●利根コカ・コーラボトリング株式会社

自動販売機を展示し、自動販売機の環境に関する取り組みを紹介。

●特定非営利活動法人 TINA

リユースＴシャツの販売。農業体験イベント「田舎日記」の紹介、休耕地栽培の在来種古代米の販売。

●シナリー（株）

身の回り、地球環境を良くしていく「環境革命」を果たすべくこだわりの製品を試供・提供。

●生活協同組合パルシステム千葉

産直と環境にこだわった商品をお届け。パネル展示・商品の無料試食。

●「ちばエコ農業」生産者協議会

「ちばエコ農産物」の PR と野菜、果物、茶、加工品、米（すくいどり）の販売。

循環型社会

●社団法人千葉県産業廃棄物協会　女性部会

古い食用油や机の中で眠っているクレヨンを使ったキャンドル作り。

生物多様性保全

●生活協同組合ちばコープ

ちばコープの環境の取り組み（Smile 八街の森の活動、エコアクションなど）を紹介。

環境教育・環境学習

●一般社団法人ガールスカウト千葉県連盟

ガールスカウト活動（環境への取組・震災支援活動の様子）の紹介。簡単なクラフトづくり。

●千葉県環境教育研究会

ＥＣＯな人間を育てるための第一歩、自然物などを使った工作屋さん。

学生の取り組み

● Teen for 3.11

10 代の復興支援団体。ツアーの企画運営将来の災害に備えた 10 代のネットワーク作りを紹介。

●千葉大学環境ＩＳＯ学生委員会

千葉大学構内で行なっている取り組みや地域社会への多様な活動展開を紹介。

その他の取り組み

●ＪＲ東日本千葉支社

乗り物による CO2 排出量について展示。復興支援を含めた東北旅行のパンフレットの配布。

●房総ガス協議会

ガス機器の展示と共に、「節電」・「省エネ」、「創エネ」効果を紹介。

地球温暖化防止

AGC エンジニアリング株式会社
旭硝子（株）千葉工場
（株）牛久工務店
NPO 法人エアコンクリーニング協会
特定非営利活動法人　エコキーパー協会
環境シンポジウム千葉会議実行委員会
関東地域エネルギー・温暖化対策推進会議
間伐材普及促進会 . エコ窓普及促進会
グリーン購入ネットワーク（GPN）
ザストップ CO2・アイセル EMC 株式会社
佐渡低炭素島づくり協議会（新潟県佐渡市）
自然エネルギー千葉の会
ＮＰＯ法人シビルまちづくりステーション
新日本製鐵（株）　君津製鐵所
生活クラブ虹の街（生活クラブ生活協同組合）
NPO 法人 太陽光発電所ネットワーク千葉地域交流会
千葉県地球温暖化防止活動推進センター／千葉県地球温暖化防止活動推進員
千葉市
千葉市地球温暖化対策地域協議会
NPO 法人塗装工事研究会
利根コカ・コーラボトリング（株）
古河電気工業（株）　千葉事業所

循環型社会

石井商事（株）
昔着物上そら
（株）クリエーション
コミュニティテラス　いぬね郷
GONET（ごみゼロネットちば 21）
ちば環境再生県民の会
社団法人千葉県産業廃棄物協会　女性部会
千葉県環境生活部資源循環推進課
千葉県石けん連絡会
千葉市再資源化事業協同組合
デジタルパフェ
NPO 法人 生ごみ減量研究会。
NPO 法人日本ファイバーリサイクル連帯協議会
ふるさと農園

千葉の里山・田舎暮らし

穴がま遠藤
SaToYaMa よくし隊
ＮＰＯ太東埼燈台クラブ
くらふと宮野
栄町ミュージアムビレッジ推進委員会
NPO 法人 さんさん味工房
山武市
NPO 法人 さんむ環連協
匝瑳市
竹細工小屋
NPO 法人 竹もりの里
特定非営利活動法人千葉自然学校
NPO 法人 みんなの森の村《動く竹人形の店》
やかましむら
（有）山口商店
竹工房せいみや

その他

ＪＲ東日本千葉支社
千葉県環境生活部県民交流・文化課
千葉県総合企画部国際課
千葉県農林水産部森林課
千葉県浄化槽団体連絡協議会
房総ガス協議会

環境に配慮したモノづくり

（株）秋葉商店
（株）一水製作所
NPO 法人 おやこカフェ
花王カスタマーマーケティング（株）
（株）コスモサウンド
シナリー（株）
生活協同組合パルシステム千葉
特定非営利活動法人 せっけんの街
「ちばエコ農業」生産者協議会
千葉県トヨタ販売店グループ・トヨタ自動車㈱
千葉県農林水産部安全農業推進課
（一社）千葉県環境保全協議会
千葉三菱コルト自動車販売㈱
チーム＠エコすき
チーム ピース チャレンジャー
特定非営利活動法人 TINA
つかいまわし工房
日本テクノマテリアル（株）
ふれあいハウス
(株) ホンダカーズ千葉
山崎製パン (株) 千葉工場
ライオン（株）千葉工場
わら工房 山の道

生物多様性保全

下泉・森のサミット
ジュゴン保護キャンペーンセンター
生活協同組合ちばコープ
千葉県環境生活部環境政策課
千葉県環境生活部自然保護課自然環境企画室　生物多様性センター
特定非営利活動法人ちば里山センター
（有）ナチュラルシードネットワーク
幕張ベイタウンにエコパークをつくる会

環境教育・環境学習

エコ紙とんぼ協会 / スーパー紙とんぼの会
（一社）ガールスカウト千葉県連盟
環境カウンセラー千葉県協議会
環境パートナーシップちば
ストップ地球温暖化　千葉推進会議
タバコ問題を考える会・千葉
ちば河川交流会
社団法人千葉県産業廃棄物協会
千葉県大気保全課
千葉県環境教育研究会
千葉県環境生活部環境研究センター
（一財）千葉県環境財団
千葉県水質保全課
千葉県立中央博物館
東芝テックグループ
なのはな会
房総浮世絵美術館

学生の取り組み

里山応援隊
Teen for 3.11
千葉工業大学　CIT ものづくり " 学内未利用資源発掘プロジェクト "
千葉工業大学 環境科学研究会
千葉工業大学 生命環境科学科 生物圏環境研究室
千葉工業大学 生命環境科学科 社会圏環境研究室
千葉大学環境ＩＳＯ学生委員会
日本大学理工学部土木工学科環境系研究室

※（特活）：特定非営利活動法人　（認定特活）：認定特定非営利活動
（一財）：一般財団法人　（一社）：一般社団法人
（社）：社団法人

エコステージ

開会式で壇上に並ぶ実行委員長と副実行委員長、来賓の戸谷千葉県環境生活部長、「チーバくん」はじめマスコットキャラクターたち。

節電ビンゴゲームのようす

1. 開会式　挨拶：桑波田実行委員長、戸谷千葉県環境生活部長
2. 「ひまわりエコプロジェクト」発表：下総高等学校
3. 日本人の「着物リメイクショー」：つかいまわし工房グループ
4. 節電ビンゴゲーム（1）：房総ガス協議会
5. アトラクション：住みます芸人「ゴールデンボーイズ」
   匝瑳市ご当地アイドル「S☆cute」
6. エコクイズラリー抽選会（1）
7. トキと共生する地域づくり：佐渡市
8. 節電ビンゴゲーム（2）：房総ガス協議会
9. 「ぼうさい探検マップ」発表：ガールスカウト千葉県第3団
10. 地球にやさしい生活・エコメッセージ：こどもエコレポーター
11. エコクイズラリー抽選会 (2)
12. 閉会式：櫛引副実行委員長

休憩時間に千葉の元気発信 CM・ショートムービー作品を上映しました。

総合司会：福満薫

担当者ひと口メモ

司会者と音響担当が経験豊富で、またボランティアスタッフも役割を十分こなし、トラブルや事故もなく、無事終了することができました。子どもから大人まで楽しんで頂けたと思います。

エコクイズラリー

出　題　団　体：28 団体
参　　加　　者：769 人（回答票回収者：512 人、67%）
参加者の内訳：小学生とその親の世代（30 及び 40 才代）が全体の 66%を占め、全体で女性参加者は男性の約 1.7 倍でした。

担当者ひと口メモ

エコクイズラリー参加人数は前年実績のほぼ３分の２に減少しました。例年、参加人数の増減はありますが、この４年間同じ方式でやっているので、新しい方式を取り入れてエコメッセを盛り上げる工夫をしたらよいと思います。

ＮＰＯ法人環境カウンセラー千葉県協議会のブース。

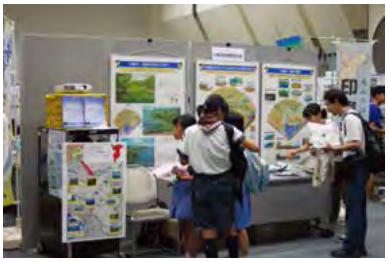
毎年のように地球温暖化対策、水質汚染対策、生物多様性対策、環境学習などのテーマで出展している。

エコクイズラリーにも毎回出題がある。

ちばの川と水 探検館

出展団体

1. 千葉県 県土整備部 河川環境課・環境生活部 水質保全課
2. ちば河川交流会
3. 千葉県 水道局
4. 千葉県浄化槽団体連絡協議会
5. 千葉県下水道公社
6. 千葉県 企業庁 管理･工業用水部施設設備課
7. 印旛沼探検隊
8. 印旛沼流域健全化会議
9. Next Inba Meeting
10. 印旛野菜いかだの会
11. 神崎川をきれいにする会
12. 八千代市ほたるの里づくり実行委員会
13. 千葉県 環境生活部 水質保全課
14. 千葉県 環境生活部 環境政策課
15. 印旛沼漁業協同組合
16. 千葉工業大学
    文化会 環境科学研究会
    生命環境科学科 生物圏環境研究室
    生命環境科学科 社会圏環境研究室
17. 日本大学
    理工学部 土木工学科環境系研究室
18. 利根運河協議会
19. 環境パートナーシップちば
20. 利根コカ・コーラボトリング㈱
21. 千葉県 真間川改修事務所
22. 海老川流域水循環再生推進協議会



担当者ひと口メモ

10 月 20・21 日開催の「第 10 回印旛沼流域環境・体験フェア」のプレイベントして出展を致しました。
印旛沼の環境保全について広くアピールできました。
また同フェアの告知効果にもつながったと思います。

エコカー展示･試乗会

内容

トヨタ、ホンダ、三菱の３社のメーカー並びにディラー、それに房総ガス協議会が出展。

①自動車会社３社のエコカー展示
②４社による幕張メッセ外周コース試乗会
（房総ガス協議会は燃料電池車の出展）

成果

1）展示コーナーに３社が出展、各社２台の華やかな最新モデルの展示は例年にないインパクトを与え、エコメッセ玄関口を盛り上げた。
2）試乗会では初めての試みとして、希望者に実際にハンドルを握ってもらった。
参加者はもとより、出展社側にも来場者との接触を喜ばれた。
3）各社の 15 分刻みのタイムテーブルも順調に回転した。
4）参加者は 132 人。
（内訳：試乗でハンドルを握った人は計 69 人、同乗は 63 人）

担当者ひと口メモ

≪究極のエコカー≫といわれる燃料電池車、ＥＶ車の研究開発は加速されます。エネルギー、環境面の将来を見据えるエコメッセにとってもますます重要なコーナーです。

ちとらくんによる運転適性診断

参加者数：221 人

内容

千葉県トラック協会の安全運転適性診断車「ちとらくん」が出動。見にくい夜間の運転や事故の多い自転車の正しい乗り方など、参加者への運転適性診断で交通安全を呼び掛ける。

成果

1）トラック協会の方から「ふだんのイベントより多数の人に参加してもらった」と、集客力に評価。
2）参加者は圧倒的に親子連れ (小学生) で、　一緒に取り組めて息抜きにもなるコーナーになった。
3）エコクイズラリー (出題) で、回答者も“受診”させることができた。

担当者ひと口メモ

イベント自体もエコメッセの趣旨と違和感なく、次年度も出動の協力を要請したい。

缶つぶし大会

参加者数：257 人

内容

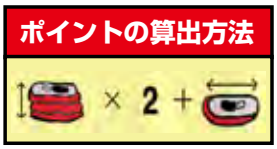
アルミ缶のリサイクルコーナとしてブースを開設し、
1）アルミ缶リサイクル協会発行のパンフレット「アルミ缶がいちばん（リサクルシステムと回収方法について紹介）」を配布。
2）「小さくつぶして、大きく減量」をテーマに、缶つぶしゲームを併催。

成果

1）子どもから大人まで多くの方に、アルミ缶の回収量を少なくするために、どれだけ小さくつぶせるか体験頂いた。
2）缶つぶしゲームは国際缶つぶし協会のルールに則り「世界記録挑戦大会」と銘打って開催。なお、大会の最高記録者には「認定書」を授与した。

参考データ	
今大会最高ポイント	113.2
過去大会最高ポイント	106.4
世界記録ポイント	106.0

ポイントの算出方法



担当者ひと口メモ

競技者には非力な子どもや、競技に不向きな履物で参加を希望する方もあり、アルミ缶の横置き、運動靴（事務局準備品）への履き替えなどが功を奏し、負傷者は出なかった。

ソーラークッキング実演

内容

環境への配慮のみならず災害時にも有効な太陽光を利用した調理器具の展示と実演を実施。

担当者ひと口メモ

ポップコーンやゆで卵、カレーなどがあっという間にできあがり、試食の人たちも太陽の威力に驚いていました。

環境協働創造市

内容

エコメッセでは「環境協働創造市」という新たな取り組みを始めました。
簡単に言えば団体の“交流会”で、市民団体、企業、行政、大学の各団体が集まって、団体同士が協働して取組を創り出していくために検討する場です。団体同士の出会いの場、お見合いの場、情報交換の場、マッチングを目指す場です。

202 会議室では説明会を開催し具体的なマッチング提案を掲示するとともに、担当者間で打ち合わせを行うなど交流を深めました。

成果

1）創造市参加の 25 団体へ資料を配布して、ブース間の交流を呼び掛けた。
　併せて 25 団体ブースに創造市参加ステッカーを貼ってもらった。

2）創造市未参加の 22 団体へ資料を配布して、創造市参加の勧誘を行った。
　一般のお客さんと対応中に割り込むことはできないので、なかなか勧誘するタイミングがなく、思っていたより時間がかかってしまった。
　エコメッセ当日の勧誘は難しいというのが感想。

3）千葉県事業の PR
　2 企業と打ち合わせ。そのうち 1 企業と応募まで話が進み成立。

4）ワークショップ
　・創造市の説明を行った
　　1 回目　10:30 ～ 11:00　→　参加者 15 名
　　2 回目　13:00 ～ 13;30　→　参加者　5 名

5）その他の時間帯対応
　・創造市参加申込が 1 件あった。
　・具体的なマッチング提案を展示するやり方は丁寧でよいとの意見が多数あった
　・千葉県環境研究センターのマッチング提案について交流部員とで打ち合わせ

担当者ひと口メモ

団体間の協働を進めていくことはそう簡単なことではありません。しかし参加団体も徐々に増え、協働の機運も高まりつつあります。皆さん、一緒にやっていきましょう！

まるごみ '12 ～ 100 年たっても地球（あなた）となかよし

内容

朝９時にスタートしたゴミ拾い。当日は晴れ、ゴミ拾い日和となりました。

また、毎年恒例である bayfm「まるごみ特番」で各地を繋ぎ、千葉県内でのゴミ拾いの様子を生放送で中継しました。今回は千葉県で名乗りをあげてくれた市町村のまるごみメンバーを中心に、地域のゴミ拾いを実施。千葉県全域でゴミ拾いが行われました。さらに今年は携帯のアプリを使った「世界ゴミ拾い」にも挑戦。世界各国から拾ったゴミの画像が届き、その拾ったゴミの画像で「モザイクアート」を実施しました。午後３時、ゴミでできたモザイクアートが完成し、まるごみ賛同アーティスト、著名人の写真がゴミにより完成しました。

イベントでは、今年初となるエコメッセ in ちばとのコラボレーションを実現。

国際会議室のステージ、さらにステージ外での出展なども賑わいました。

ステージではトークショーも行われ、千葉市熊谷俊人市長をゲストにお迎えし、さらに東北３県の被災地からお招きした方々、さらに千葉県で活動する支援ボランティアチームの方を中心にディスカッションを展開、その他アーティストによるライブ、DJ ショー、バイオリン、和太鼓の演舞なども行われ、ステージを華やかに彩りました。会場では、石巻・鮎川浜でとれたワカメの試食販売、さらに来場者の皆さんにワカメの養殖の際、海に浮かぶ浮き玉にメッセージを書いていただく浮き玉プロジェクト、など様々な催しが開催されました。

担当者ひと口メモ

協働創造市の取り組みの一つとして、開催されました。参加者は高校生など若者たちにあふれました。若者や地域の活動家などの熱い思いと生き生きとした表情が素敵でした！ゴミ拾いをした地域が光る「ピリカ」も印象に残りました。

千葉の里山・田舎暮らし物産展

内　容

1) 県内田園地域の物産販売、特に木・竹製品の販売
2) 木や竹を使った制作体験
3) 農村文化と竜に係るパネル展示
4) エコステージでの故郷応援ライブ
5) 竹を使った室内装飾

成　果

1) 都市住民への千葉の田園地域の紹介と都市地域と田園地域の交流促進
2) 森林や木の活用についての啓発
3) 会場の賑わい・活性化に寄与

担当者ひと口メモ

農産物や工芸品など色々な物産が集まっただけでなく、県内各地域からの出展者の交流が図られたのがよかった。

どう取り組むかこれからの新エネルギー

これからの新エネルギーに対して千葉県内での取り組み方をパネルディスカッション形式で討論して頂きました。登壇者は、森摂氏（(株) オルタナ社長）、松原弘直氏（環境エネルギー政策研究所理事）、小出浩平氏（ワタミエコロジー (株) 再生可能エネルギー事業部長）、大石英司氏（みんな電力 (株) 代表取締役）、司会役の星野智子氏（一社）環境パートナーシップ　会議副代表でした。

地域活性化も視野に入れた取組で、森摂氏は「エネルギーと民主主義」、松原氏は「国内外での自然エネルギー活用の現状と可能性」、小出氏は「ワタミグループの風力発電事業参入」、大石氏は「市民としての自然エネルギーの取り組み」のプレゼンをして「県内での新エネルギー普及施策」のディスカッションを開催した。

その内容をまとめると、①コミュニティの再生に自然エネルギーを使う（空き地、古民家）、②行政から屋根や土地を提供してもらう、③行政の取り組みスピードを市民参加で早める、④建築材として使用出来ない山武杉でバイオマスに、風に恵まれている旭市付近で風力発電増強、等であった。

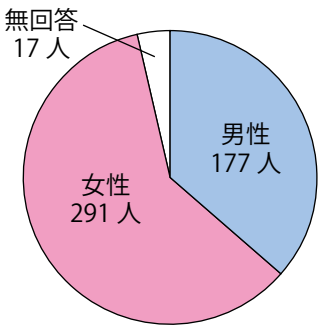
参加者 41 名の会場風景

担当者ひと口メモ

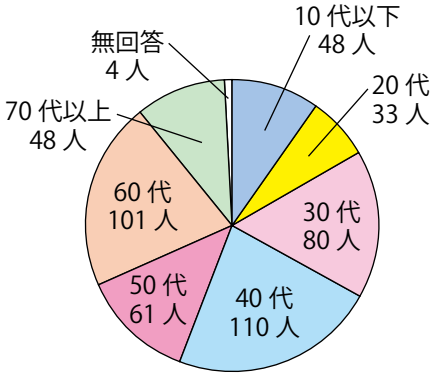
省エネを再度見直し、千葉での新エネルギー取組はまず地域で出来る「太陽光」「水力」「風力」を利用した再生可能エネルギー利用の普及から始めましょう。

来場者アンケート集計結果　◆回答者 485 人

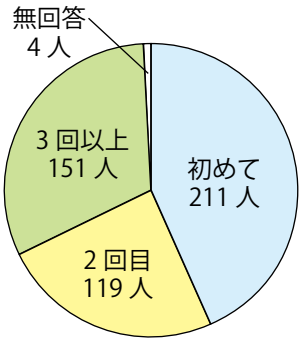
性別



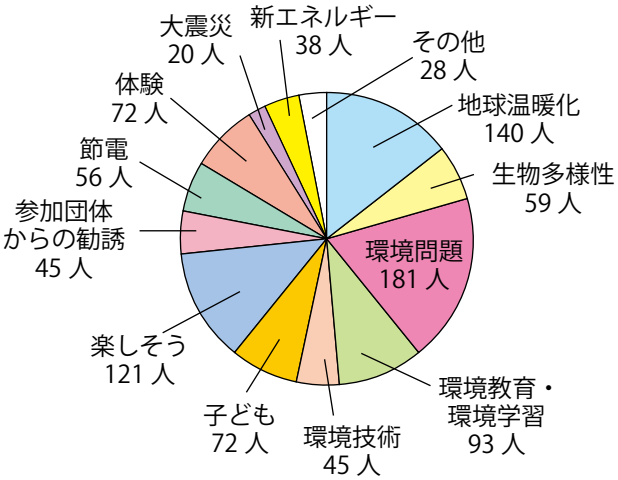
年齢



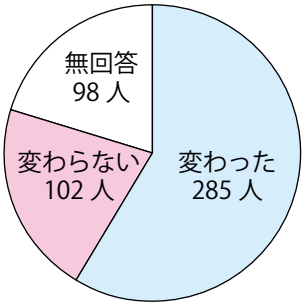
参加回数



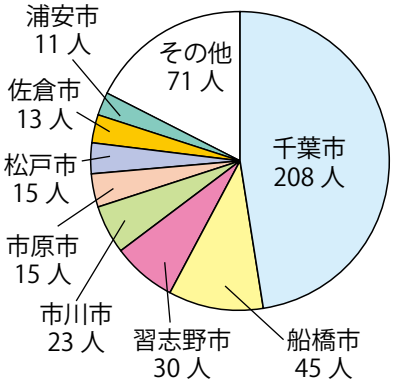
参加理由



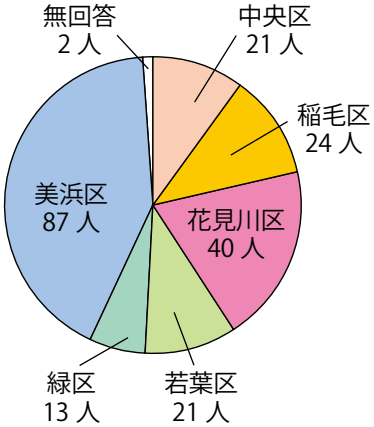
環境への認識や考え方の変化



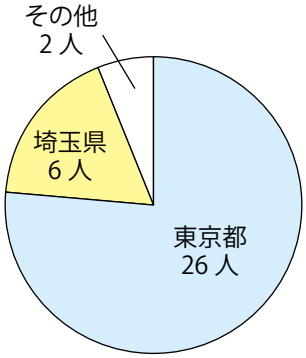
住所（県内）436 人



住所（千葉市）208 人



住所（県外）34 人



エコメッセの変遷（1997 年～ 2012 年）

エコメッセは、“持続可能な社会の実現”をメインテーマとして、市民・企業・行政の３者が対等な立場で実行委員会を組織し、千葉市の幕張新都心を舞台に 1996 年から開催されている環境イベントです。環境保全の輪を広げること、そして異なる主体間のパートナーシップを推進することを目的としています。

名称	実行委員会	事務局	事業費
エコメッセちば 1997 エコメッセちば 1998 エコメッセちば 1999 エコメッセちば 2000 エコメッセちば 2001	かかわる人全て（イベント主催者・エコバザール出展者・賛同者・後援者・協賛者） 委員長：千葉県環境財団理事長・副委員長：幕張新都心まちづくり協議会会長・千葉県企業庁地域整備部長 運営:実行委員会に幹事会（企画部会,渉外部会,広報部会）を設置,ただし 2001 年に幹事会を運営委員会に変更（企画調整班，広報活動班，ｲﾍﾞﾝﾄｶﾞｲﾄﾞﾎﾟｽﾀｰ記録集作成班）	千葉県 環境財団	450 万円（千葉県・千葉市補助金 , 企業庁負担金 , 広告・協賛金）
エコメッセちば 2002	かかわる人全て（イベント主催者・エコバザール出展者・賛同者・後援者・協賛者） 委員長：環境パートナーシップちば代表・副委員長：幕張新都心まちづくり協議会会長・県環境政策課長・千葉市環境調整課長・県企業庁幕張新都心整備課長 運営：実行委員会運営委員会（企画部会，広報部会，渉外部会）		268 万円（出展料 , 企業庁負担金，広告・協賛金 , 千葉市補助金 , 市民カンパ , レンタル代）
エコメッセちば 2003 エコメッセちば 2004	運営に携る人のみで構成（以下同様） 委員長：環境パートナーシップちば代表・副委員長：千葉県産業廃棄物協会副会長・千葉県環境政策課長・市環境調整課長 運営：実行委員会（企画運営部，広報部，渉外部，出展管理部）	実行委員の中から事務局を選出	110 万円（出展料 , 協賛金,レンタル代,千葉市民カンパ） 300 万円（県NPO協働事業負担金,出展料,広告協賛金 , 千葉市補助金，市民カンパ）
エコメッセちば 2005		エコメッセを実現する会	230 万円（出展料 , 千葉県・千葉市負担金 , 広告協賛金 , 寄付金 , 市民カンパ）
エコメッセ 2006 in ちば	委員長：環境パートナーシップちば代表・副委員長：(財）千葉県環境財団理事長・千葉県環境政策課長・千葉市環境調整課長 運営：実行委員会（企画運営部，広報部，渉外部，出展管理部）	環境パートナーシップちば	231 万円（出展料 , 広告協賛金 , 県・千葉市負担金 , 寄付金 , 市民カンパ）
エコメッセ 2007 in ちば			240 万円（出展料 , 県・千葉市負担金，広告協賛金 , 寄付金）
エコメッセ 2008 in ちば			300 万円（東京ガス補助金,出展料 , 千葉県・千葉市負担金，広告協賛金，寄付金）
エコメッセ 2009 in ちば	委員長：環境パートナーシップちば代表 副委員長：(財）千葉県環境財団理事長・千葉県環境政策課長・千葉市環境調整課長・(社）千葉県経済協議会 専務理事 運営：実行委員会（企画運営部，広報部，渉外部，出展管理部）		330 万円（出展料 , ちば環境再生基金 , 千葉県・千葉市負担金 , 協賛金）
エコメッセ 2010 in ちば	委員長：環境パートナーシップちば代表 副委員長：(財）千葉県環境財団理事長・千葉県環境政策課長・千葉市環境保全課長・(社）千葉県経済協議会専務理事 運営：実行委員会（営業企画部会，会場運営部会，広報部会）	ワンアップ・アド・システム (株)	406 万円（出展料 , ちば環境再生基金 , 千葉県・千葉市負担金 , 協賛金）
エコメッセ 2011 in ちば	委員長：環境パートナーシップちば代表 副委員長：(財）千葉県環境財団理事長・千葉県環境政策課長・千葉市環境保全課長・(社）千葉県経済協議会専務理事 運営:実行委員会（渉外部会、広報部会、企画部会、出展管理部会）		500 万円（出展料 , ちば環境再生基金 , 千葉県・千葉市負担金 , 協賛金）
エコメッセ 2012 in ちば	委員長：環境パートナーシップちば代表 副委員長：(一財）千葉県環境財団理事長・千葉県環境政策課長・千葉市環境保全課長・(社）千葉県経済協議会専務理事 運営：実行委員会（広告宣伝部会、企画部会 、交流部会、事務局）	環境パートナーシップちば	275 万円 (出展参加費 , 千葉県及び千葉市負担金 , 協賛金 , その他) ※環境協働創造市の同時開催費用を除く

エコメッセ 2012 in ちば　実行委員

役割	氏名	会社・団体名称
委員長	桑波田　和子	環境パートナーシップちば代表
副委員長	長濱　純	(一社) 千葉県環境財団理事長
副委員長	櫛引　宣子	千葉県環境生活部環境政策課長
副委員長	古谷　幸一	千葉市環境局環境保全部環境保全課長
副委員長	山口　忠則	社団法人千葉県経済協議会専務理事
会計監査	田中　陸衛	京葉銀行
会計監査	印東　富士江	千葉興業銀行
	高岡　良介	千葉銀行
	伊藤　裕亮	京葉銀行
広報宣伝部会	宮寺　卓	NPO 法人　アースデイ・エブリデイ
広報宣伝部会	斉藤　清	(一社) 環境プランニング学会
広報宣伝部会	吉田　けんじ	スマートビーンズ株式会社
広報宣伝部会	田村 茂俊	房総浮世絵美術館 Boso Ukiyo-e Museum of Art
広報宣伝部会	kousaku	U-PROJECT
広報宣伝部会	高橋 賢治	ワンアップ・アド・システム㈱
広報宣伝部会	泉水　良介	千葉県環境政策課温暖化対策推進室
広報宣伝部会	千羽　喜子	千葉市環境保全課
広報宣伝部会	中西　広充	個人
企画部会	柏　靖博	個人
企画部会	牧内　弘明	ちば河川交流会
企画部会	内山　真義	ＴＥＡ－ＮＥＴ
企画部会	つやま　あきひこ	環境漫画家
企画部会	福満　美代子	NPO 法人 ちば環境情報センター
企画部会	石田　晶久	NPO 法人 千葉自然学校
企画部会	種本　利治	NPO 法人 環境カウンセラー千葉県協議会

役割	氏名	会社・団体名称
交流部会	加藤　賢三	環境パートナーシップちば
交流部会	真坂　泰子	東京ガス（株）千葉支社
交流部会	宮下　朝光	NPO 法人 太陽光発電所ネットワーク
交流部会	茂木　昌克	ＧＯＮＥＴ
事務局(出展管理)	横山　清美	環境パートナーシップちば
事務局(出展管理)	望月　靖子	環境パートナーシップちば
事務局	山口　幸一	(一社) 千葉県環境財団
事務局	戸谷　恭子	(一社) ガールスカウト 千葉県連盟
事務局長	山田　多恵子	環境パートナーシップちば
事務局（会計）	佐篠　勲	(一社) 千葉県環境保全協議会
事務局（会計）	高橋　博	千葉県自動車車体整備協同組合
実行委員	小田川　和恵	千葉県生活協同組合連合会
実行委員	栗原　康次	ちばコープ（組織運営室）
実行委員	渡邊　寧	ちばコープ（組織運営室）
実行委員	中岡　丈恵	ちば環境再生県民の会・つかいまわし工房
実行委員	石井　吉彦	(有) ナチュラルシードネツトワーク
実行委員	佐藤　紘孝	NPO 法人おやこカフェ
実行委員	村上　和仁	千葉工業大学生命環境科学科
実行委員	佐藤　博	デジタルパフェ
実行委員	成瀬　義弘	NPO エコキーパー協会
実行委員	千代　慎一	千葉県浄化槽団体連絡協議会
実行委員	秋葉　京子	(一社) ガールスカウト千葉県連盟
実行委員	鈴木　恵子	NPO 法人ちば里山センター
実行委員	永澤　秀幸	ストップ地球温暖化千葉推進会議

【協　賛】

(社) 千葉県産業廃棄物協会、(社) 千葉県経済協議会、東京ガス（株）千葉支社、千葉銀行、京葉銀行、千葉興業銀行、利根コカ・コーラボトリング (株)、生活協同組合ちばコープ、生活協同組合パルシステム千葉、千葉県生活協同組合連合会、(株) ベイエフエム、(特活) エアコンクリーニング協会　　(順不同、敬称略)

【協　力】

(株) 幕張メッセ、東芝テックソリューションサービス（株)、北総鉄道（株)、(株) ビスメディア、(社) 千葉県バス協会、(一社) ガールスカウト千葉県連盟、国際 CAN つぶし協会 (ICCS)、(社) 千葉県トラック協会、(有) ちばマガジン、チーム@エコすき、GONET、環境パートーナーシップちば、オーガニックレストランカムー、千葉都市モノレール (株)（順不同、敬称略）

【後　援】

環境省関東地方環境事務所、千葉県教育委員会、千葉市教育委員会、(一社) 千葉県商工会議所連合会、千葉商工会議所、千葉市観光協会、幕張新都心まちづくり協議会、(株) 幕張メッセ、読売新聞社千葉支局、朝日新聞千葉総局、毎日新聞社千葉支局、日本経済新聞社千葉支局、東京新聞千葉支局、千葉日報社、時事通信社千葉支局、共同通信社千葉支局、ＮＨＫ千葉放送局、千葉県ケーブルテレビ協議会、(株) ベイエフエム　　(順不同、敬称略)

上記の実行委員のほかに、一般市民 (35 人)、千葉大学 (12 人)、千葉県職員 (9 人)、環境カウンセラー (6 人)、東芝テックグループ (5 人)、ガールスカウト (5 人) の総勢 72 名のボランティアの方にお手伝いをしていただきました。この場を借りてお礼を申し上げます。

収支概要

[平成 25 年 1 月 31 日現在、単位：千円]

■収入

出展参加費収入	1,724
千葉県及び千葉市負担金、協賛金	500
協賛金	520
その他	5
合計	2,749

■支出

報償費・賃借料・保険料・役務費	1,754
印刷費	366
会議費・諸経費	397
消耗費・予備費	232
合計	2,749

「エコメッセ 2013 in ちば」は今年も幕張メッセで開催します。

多くの団体、企業のみなさまの出展をお待ちしております！
また、イベント実行に協力してくださる実行委員も広く募集します！
募集要項は、３月中旬以降にホームページをご参照下さい。

http://www.ecomesse.com

開催：2013 年９月 28 日（土）
会場：幕張メッセ国際会議場

海浜幕張駅前プレナ幕張に設置されたビジョン幕張「くらしのＥＣＯインフォメーション」の番組で、エコメッセ開催案内が放映されました」協力：株式会社ビスメディア